

ほうかごとう じぎょうしよ じこひようけつか こうひよう  
 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

こうひよう れいわ ねん がつ にち  
 公表：令和7年4月29日

じぎょうしよめい ひまわりおみどう  
 事業所名 ひまわり近江堂

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用人数に合わせた環境整備（遊びのブースごとのスペースの確保等）がされている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用者と職員が一对一となるように、非常勤職員を含めた職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	用途に応じてカーテンで仕切って刺激を減らしたり、内装をシンプルにしています。 事業所入口にスロープと手すりを、階段やプレイルームには手すりを設置したり、トイレを広く設計したり等、バリアフリー化を図っています。 お子さんの状態に応じて、安全に利用できるよう配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々の清掃や消毒はもちろのこと、必要な物が安全に使えるよう棚などを配置しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	カーテンで仕切ったスペースや個別の部屋を必要に応じて使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	個別支援計画書の作成及び、ケース会議、非常勤職員を含めたミーティング等で利用者の様子を共有しています。 ミーティングに参加できない場合やミーティング以外の機会にも回覧などで意見を求めています。	
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者の方への満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	毎月1回、職員、非常勤職員でのミーティングを設け、業務改善や子どもの状況について自由に意見交換を行っています。	意見を出しづらい場面もあるため、全員が発言しやすい環境づくりに努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		現在は、利用者・事業所の二者評価で業務改善を行っており、第三者による外部評価については、実施していません。 今後必要に応じて実施を検討していきます。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・外部機関での研修に職員が積極的に参加できるよう体制を整えています ・月に1度、施設内での内部研修を実施、常勤・非常勤職員が参加できるよう取り組んでいます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページに支援プログラムを公表しています。	
適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行う際に、聞き取りと必要に応じて衛生面、行動管理、身辺自立スキル、学習スキル、家事スキル、地域社会生活の領域に分けたアセスメントツールを使用し行うようにしています。聞き取りに関しては、保護者の方と必要に応じての面談と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っています。また、面談の内容や日々の子ども達の様子から課題を考え、個別支援計画を作成させていただいています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけでなく、子どもの支援に係わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	各職員が持っている子どもに関する情報や観察結果を共有しています。このことにより、異なる視点や意見が反映され、多角的な支援につながっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	67%	33%	毎月1回のミーティングで個別支援計画の支援内容や目標を伝えていきます。また、事務所に個別支援計画を確認できるようにしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	33%	67%	保護者の方や関係機関からいただいた情報と日々の活動などから状況を把握するように努めています。また、必要に応じて発達検査を行っています。	現在、インフォーマルなアセスメントツールの使用はありませんが、今後検討していきたいと思えます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	「放課後等デイサービスガイドライン」に則した「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を踏まえて、子どもに適切な支援の優先順位をつけて具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	指導員・介護福祉士・保育士・公認心理師・臨床心理士等がそれぞれの立場・専門性を活かし、活動プログラムの立案を行っています。また、事業所間を通し会議・プログラムの立案も行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	指導員・介護福祉士・保育士・公認心理師・臨床心理士等がそれぞれの立場・専門性を活かし、活動プログラムの立案を行っています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	長期目標・短期目標を設定する中に、子どもの状況に応じた、個別活動と集団活動を適宜組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	67%	33%	支援開始前・終了後に職員間での打ち合わせ・1日の振り返りを実施し、情報の共有・支援の方向性等を話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	また、日報でその日の連絡事項を確認し、休みのスタッフとも共有しています。	
	22	白々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%	毎回実施記録を取り、保護者の方との連絡ツールにもさせて頂いております。見直すことにより、支援の検証・改善に繋げています。	白々の記録が、利用者の今後の支援方針や個別支援計画の立案の際の手立てとなるように工夫していきたいと思えます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	保護者の方と必要に応じての面談と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っています。また、日々の子ども達の様子からも課題を考え、個別支援計画を作成させていただいています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	支援活動の中で子どもが自由に選べる選択肢を提供しています。例えば、「何をして遊びたいか」、「おやつは食べたいか」「誰と遊びたいか」など。また、選択肢が多い場合は、選択肢を減らして選んでもらっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	サービス担当者会議の場には、管理者・保育士・公認心理師・臨床心理士等の専門性を持った職員が、ケースに応じて必ず出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っているか。	67%	33%	必要に応じて、各関係機関との連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	67%	33%	学校との情報共有を行っています。目標や課題の共有・アセスメント結果の共有等、様々な形で連携できるよう、保護者の方の協力の元、実施しています。具体的な取り組みの一つとして、学校送迎では、予定表を渡し連絡ミスが無いようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	当施設の利用開始年齢やケース内容などを鑑み、必要に応じて連携させていただいております。現状としては、就学前に通所していた公的機関との連携が中心になっております。	各ケース必要に応じて情報共有のための訪問、会議等を行っています。

30	<p>学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。</p>	67%	33%	<p>これまでの支援内容等の情報は障害福祉サービス事業所等へ移行先の担当者・相談支援員・保護者の方と合同での面談機会を設け、引継ぎをしています。</p>	
31	<p>地域の児童発達センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。</p>	33%	67%	<p>公的専門機関の研修に参加したり、助言を頂くなど、連携させていただいています。</p>	<p>地域の児童発達支援センター主催の研修にも機会があれば参加していきたいと考えております。</p>
32	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。</p>	0%	100%		<p>現在、交流は行っていません。保護者の方の中には、交流を望まない意見もあり、心情を汲み取りながら、対応していきたいと思っています。</p>
33	<p>(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。</p>	0%	100%		<p>現在は、参加できていない状態です。機会があれば参加し、東大阪事業所連絡会を通じて、現状の把握や意見を伝えていきたいと考えています。</p>
34	<p>日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。</p>	100%	0%	<p>日々の活動記録は連絡ノートとして、また、必要な時は電話をかけ、保護者の方との情報共有をおこなっています。</p>	
35	<p>家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報共有等を行っているか。</p>	67%	33%	<p>その中で、ご家庭・学校での出来事などの情報を共有し、必要に応じて面談し、解決に向けて支援を行っています。</p>	
36	<p>運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。</p>	100%	0%	<p>支援内容、利用負担額、運営規定の内容は見学時・契約時にご説明させていただいております。また運営規定については、施設内入り口に置いてあり、いつでもご確認いただけるようにしています。</p>	
37	<p>放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会をもうけているか。</p>	100%	0%	<p>保護者の方との個別面談を定期的に行い、子どもの興味・関心、日常生活での課題、保護者の方が望む支援内容など、支援に対する意向を確認しています。</p>	
38	<p>「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。</p>	100%	0%	<p>支援内容の説明を行いながら、同意を得ています。</p>	
39	<p>家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面接や必要な助言と支援を行っているか。</p>	100%	0%	<p>連絡ノート・電話・面談等で様々な相談を受けております。必要に応じて、幼稚園・小学校・中学校・高校などに出向き、地域支援に繋がっています。</p>	
40	<p>父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士の交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。</p>	33%	67%	<p>基本的には、父の会は年に1度、母の会は年に数回、開催させていただいています。今年度は、母の会を1度開催させていただきました。今後は、父の会の実施や、要望にそった母の会の開催に努めてまいります。</p>	<p>きょうだい同士の交流の機会は設けていない。今後相談等があった際は、検討していきたいと思えます。</p>

保護者等への説明等

	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情解決体制を整備しています 苦情の受付時間・連絡先は重要事項説明書に記載してあります 必要に応じ、早急に対応させていただきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月、会報誌を発行し、活動概要・活動予定・連絡事項をご案内させていただいております。	
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報使用同意書・重要事項説明書に記載してある守秘義務を順守しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚的にわかりやすいよう掲示物などで工夫したり、1日のスケジュールが必要なお子さんに対しては、個人的に用意しております 保護者の方には連絡ノートで対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		現在、行っていません。 保護者の方の中には、交流を望まない意見もあり、心情を汲み取りながら、対応していきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルは策定されており、各種マニュアルは事務所に保管しております。緊急対応・防犯・感染症対応をテーマに職員研修を継続して行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	67%	33%	職員向けとしては、救命救急訓練を消防署職員の指導の下で行っています。 職員会議の場では、火災・防犯・自然災害等を想定し、避難経路・防犯対応などを話し合っています。	現在、消防署職員を招いての訓練はできていません。非常勤も含めた合同ミーティングでは、緊急時の対応等を確認しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	健康に関する情報を事前に保護者の方に確認をしています。定期的な面談や連絡ノート、電話での確認などを通じて把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	現在、指示書が必要な方はいませんが、アレルギーの有無は、契約時または面談時に保護者の方から伺っています。 対応策は、保護者の方と協議しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。	67%	33%	安全に関する研修や訓練を定期的に行っています。研修では、事故予防や感染症対策などを行っています。訓練では、避難訓練や災害時対応訓練などを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%	作成した安全計画は事務所に保管しております。また、避難訓練等は会報誌などで周知しています。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。 また、年に一度ヒヤリハットのケース会議を行い、事業所間で共有しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	人権擁護の研修会に職員が参加し、施設内研修に繋げ、全職員で虐待防止に繋がっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0%	100%		現在、契約の際に、保護者の方には説明をしますが、身体拘束を必要とするケースが無いので、計画に記載はしていません 必要がある場合。は個々に応じて職員、保護者が何度も話し合い、内容を決定し、了解を得た上で、計画書に記載します。 その後も状態を把握し、内容を更新していく事としています。